

(4) スポーツ

第4章	スポーツ	第1節	豊かな心身を育むスポーツの振興
施策1	スポーツ活動の促進		担当課係 生涯学習課青少年・スポーツ係

1 推進方策および今年度の取組内容

●スポーツに親しむための場の提供と情報発信	
・年齢や経験に関わらず、健康と生きがいづくりのため誰もが気軽にスポーツに取り組むことができるよう、指定管理者と連携し、各種目の初心者教室等を開催する。また、ファミリーバドミントン大会の開催、フロアーカーリングなどのニュースポーツの普及にも取り組んでいく。	
主な取組内容	R1 初心者教室(卓、バド)150回1,768人、講習会(卓、陸上、ストレッチ)3回129人、ふまねっと21回404人等
	R2 初心者教室(卓、バド)61回740人、講習会0回、ふまねっと2回17人等
	R3
	R4
	R5
●スポーツ団体の育成と活動支援	
・伊達市体育協会を通じ各種競技団体の活動を支援し、競技の普及促進を図るほか、スポーツ少年団から中学高校の部活、大人のスポーツサークルの全道、全国大会参加への経済的支援(補助金)を行う。また、引き続き学校施設開放事業を実施し、団体活動の場の提供を通して、強化、育成、健康づくりの支援を行う。	
主な取組内容	R1 スポーツ少年団24団体、3大会への助成。学校開放11校60団体、延べ2,148回37,617人利用
	R2 スポーツ少年団24団体、大会助成0件。学校開放10校60団体、延べ2,490回40,452人利用
	R3
	R4
	R5
●各種スポーツ大会の開催支援	
・指定管理者と連携して父ちゃん野球大会、レディースバレーボール大会などの大会を開催し、地域間、世代間交流を図りながらスポーツに取り組める場を提供する。	
主な取組内容	R1 父ちゃん野球216人、パーク5回344人、トリムバレー82人、Fバド・レディースバレー等はコロナで中止
	R2 父ちゃん野球192人、パーク2回151人、トリムバレー、Fバド・レディースバレーはコロナで中止
	R3
	R4
	R5
●スポーツ指導者の養成と確保	
・青少年期にスポーツに取り組むに当たっては、各々の心身の発達に合わせた取り組みと、技能向上のみならず集団生活などを通じた社会性を身に付けることが重要であり、そのためには適切な指導を行えるスポーツ指導者が必要となる。伊達市スポーツ少年団本部への支援を通じて指導者の養成と資質の向上に取り組む。	
主な取組内容	R1 リーダー養成5事業89人、指導者育成(研修会)2回102人
	R2 開催の方向で調整を試みるも全事業、コロナで中止
	R3
	R4
	R5
主な取組内容	R1
	R2
	R3
	R4
	R5

2 施策の目標設定における取組状況・評価

	目標設定年度 (H29)	R1	R2	R3	R4	中間年度 (R5)	目標年度 (R10)	取組評価	出典等
◎推計人口に対する総合体育館における各種スポーツ教室への参加者数の割合									
参加割合	136.10%	150.58%	112.46%				138.00%	140.00%	c
参加者数	47,063人	50,918人	37,696人				44,818人	42,899人	
◎									

■取組評価指標 a:順調 b:概ね順調 c:やや遅れている d:遅れている -:評価不可

3 施策に対する達成度評価

達成度評価	評価の理由
C	コロナ禍ながら、健康志向等に応じた各種スポーツ機会の提供と、青少年や地域のスポーツ活動の普及促進を図ることができた。 各種大会の実施や研修会の実施、講習会への派遣もコロナで中止となった。
取組を進める上での課題と対応方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・温水プールやトレーニング室等の施設の有効活用へ向け、幅広い年齢層を対象とした各事業の継続実施。 ・健康意識の高揚を図り、ニュースポーツの普及や各種スポーツ・レクリエーションを楽しめる機会と活動環境の整備・充実を引き続き図る。 ・各種目に対応した指導力の向上と指導者の育成を行う。 	

■達成度評価指標 A・・・達成、完了 B・・・達成に向け進捗あり C・・・着手したが遅延している D・・・未着手
-・・・評価不可

細目名等	予算書上の	款 項 目			事業(細目)名	決算額(千円)	摘要
		9	5	1	スポーツ少年団活動補助金	630	
		9	5	1	学校施設開放事業経費	2,231	
		9	5	2	スポーツ施設運営管理委託料	125,541	
							社会教育施設管理運営体制持続化事業18,000(スポーツ施設)

第4章	スポーツ	第1節	豊かな心身を育むスポーツの振興
施策2	スポーツ施設の整備・充実		担当課係 生涯学習課青年・スポーツ係

1 推進方策および今年度の取組内容

●各施設の状況に応じた管理及び運営内容の充実	
・各施設の主な設置目的に沿った供用はもちろんのこと、空き時間帯にスポーツ以外の団体や用途に供するなど、各施設の内容を考慮しながら有効活用を推進する。	
主な取組内容	R1 館山野球場での幼稚園の運動会やイベント、武道館ではダンス、ストレッチ、太極拳が行われた。
	R2 武道館において、ダンス、ストレッチ、太極拳サークルに活動場所を提供した。
	R3
	R4
	R5
●施設及び備品の修繕・更新計画の策定	
・老朽化が進む施設はもちろんのこと、供用開始から日が浅い施設についても、近い将来に相当の修繕や更新を行わなければならない施設の箇所、備品等の修繕・更新計画の作成に向けた準備を指定管理者と連携して行う。	
主な取組内容	R1 総体(オイルコンプレッサ748千円)、関内(フロー等2,003千円)等。計画は準備中
	R2 館山野球場(スコアボード、スコア小屋修繕526千円)、武道館(暖房機修繕1,711千円)等
	R3
	R4
	R5
●指定管理者制度の推進とサービスの向上	
・直営で管理している、まなびの里サッカー場の指定管理者制度への移行に向けて検討を行う。 また、指定管理者が運営管理する施設においては、スポーツ用品や飲食物の販売などで利用者へのサービス向上を図る。	
主な取組内容	R1 サッカー場の指定管理は有珠振興会と協議中。総体にて、肉まん・あんまん、カップコーヒ-の試験販売
	R2 サッカー場の指定管理は、有珠振興会と継続協議中。総体の肉まん・あんまん、カップコーヒ-販売は休止中。
	R3
	R4
	R5
主な取組内容	R1
	R2
	R3
	R4
	R5

2 施策の目標設定における取組状況・評価

	目標設定年度 (H29)	R1	R2	R3	R4	中間年度 (R5)	目標年度 (R10)	取組評価	出典等
◎推計人口に対するスポーツ施設等の延べ利用者数の割合									
利用者割合	1105.44%	1020.40%	651.96%			1109.00%	1110.00%	c	
利用者数	382,250人	345,034人	218,536人			360,170人	340,126人		
◎									

■取組評価指標 a:順調 b:概ね順調 c:やや遅れている d:遅れている -:評価不可

3 施策に対する達成度評価

達成度評価	評価の理由
C	指定管理者(共同事業体)の連携強化が課題となっているが、コロナ禍においても積極的な自主事業への取り組みにより、施設の利用促進が図られ、市民の健康・体力づくりに資することができた。
取組を進める上での課題と対応方針	
より多くの市民にスポーツ施設を利用していただけるよう、健康・体力づくりに関する情報発信と健康意識の啓発を充実させ、施設の指定管理者と連携し、アンケート等によるニーズの把握を積極的に行い、ニーズに沿った多種多様な教室を展開することなどで、総合体育館を、より市民に有効活用していただけるよう努める。	

■達成度評価指標 A・・・達成、完了 B・・・達成に向け進捗あり C・・・着手したが遅延している D・・・未着手
-・・・評価不可

細目名等	予算書上の	款	項	目	事業(細目)名	決算額(千円)	摘要
		9	5	2	まなびの里パークゴルフ場運営管理委託費	7,601	
		9	5	2	まなびの里サッカー場維持管理費	5,674	
		9	5	2	スポーツ施設運営管理委託料	125,541	

社会教育施設管理運営体制持続化事業20,000(まなびPG、スポーツ施設)